

発達支援研究所ホームページ <https://smart-kids.co.jp/lab/>

スマートキッズジュニア亀戸

恐竜の世界、お菓子の世界、お祭りの世界。
3つの楽しい世界がひしめき合う、独創性豊かな
教室の出来上がりです。

新しい集団の中で、子どもが安心して育つために

所長 中村雅子

4月は、桜が咲き、草木が芽吹く季節です。新しい学年や新しい環境が始まり、子どもたちにとっても大きな変化の時期となります。

大人はつい、「ひとつ上の学年だから」「新しい生活が始まるから」と、子どもの成長を期待してしまいます。しかし実際には、多くの子どもが新しい環境に戸惑い、不安を感じています。まわりの様子を見ながら、少しずつ自分の居場所を見つけていくのがこの時期です。

そんなときに大切なのは、大人がどのような気持ちで子どもを見ているかです。子どもは、大人のまなざしや言葉をとても敏感に感じ取ります。

「きっとできるよ」「大丈夫、少しずつ慣れていこうね」といった前向きな言葉は、子どもに安心感を与え、自信につながっていきます。反対に、「またうまくいかないかもしれない」といった不安な気持ちが伝わると、子どもも不安になってしまうことがあります。

ここで、ある子どもの様子をご紹介します。

Aさんは、新しいクラスで、気持ちが高ぶると、友だちに手が出てしまうことがありました。まわりの大人は心配して、つい先回りして止めたり、強く注意したりしていました。

しかし、よく様子を見ていくと、Aさんは「いやだ」「困った」という気持ちを言葉でうまく伝えられず、気持ちがいっぱいになってしまっていたのです。

そこで、「どうしたかったの?」と気持ちを聞いたり、「『やめて』って言ってみようか」と言葉を一緒に考えたりしました。また、「今、少し我慢できたね」と、小さな変化を見つけて伝えていきました。

するとAさんは、少しずつ落ち着いて行動できるようになり、自分の気持ちを言葉で伝えられる場面も増えていきました。

また、Bさんという子どもは、勉強にとっても一生懸命でしたが、テストで一つでも間違いがあると、悔しくて用紙を破ってしまうことがありました。

Bさんの心の中には、「間違えるのはよくないこと」「できない自分はだめだ」という思いがありました。

そこで大人は、「全部できたか」ではなく、「ここまでできたね」「よく考えているね」と、努力や工夫に目を向けて声をかけるようにしました。また、「間違いは成長の途中なんだよ」と繰り返し伝えていきました。

するとBさんは、少しずつ「ここがわからなかった」と言えるようになり、「次はどうしよう」と考えられるようになっていきました。



このように、一見困った行動に見えることの背景には、その子なりの理由や気持ちがあります。その気持ちに寄り添い、「この子はきっと大丈夫」「少しずつ成長していく」と信じて関わるのが、とても大切です。

新しい環境に入ったばかりの子どもは、小さな一歩を積み重ねながら前に進んでいます。

- ・あいさつができた
- ・少し長くその場にいられた
- ・友だちの様子を見て行動できた



そんな一つひとつの変化を見つけて、「できたね」と伝えてあげてください。その積み重ねが、「自分はここにいていいんだ」という安心感につながっていきます。

また、安心できる環境の中でこそ、子どもは失敗することにも挑戦できます。失敗を責めるのではなく、「やってみたこと」を大切に、「次はどうしようか」と一緒に考えていくことが、子どもの力を育てます。

新しい集団に慣れるというのは、ただルールを守るのではなく、「自分らしく安心して過ごせるようになること」です。

春の草木がゆっくり育つように、子どもたちもそれぞれのペースで成長していきます。焦らず、その歩みを信じて見守っていききたいものです。



<プロフィール>

中村 雅子 (なかむら まさこ)

スマートキッズ発達支援研究所は、教育と医療の連携を図り、日常生活に必要な基本動作を身に付け、集団への適応を図り、健康で生き生きと活躍するための優れた支援プログラムの開発と活用を目指します。多くの皆様にご活用いただければ幸いです。

私は、これまで、情緒障害教育研究会会長を5年間、設置校長を15年間務め、大学院で後進の育成に携わってきました。これまで、多くの保護者の皆様と出会い、率直なご意見を伺ってきました。その多くが、卒業後、就労し、社会の中で人とかかわり、生き生きと生きていくために、十分な教育ができていだろうかという不安でした。私たちは、このような問いと真摯に向かい合い、より有効な支援プログラムを開発し、その効果的な活用法を提言していきたいと考えています。また、学校(園)と放課後等デイサービス等の連携を図り、子どもたちの健康づくりやキャリア形成、遊びや余暇など生活づくりにつながるプログラム開発を進めます。研究所員の皆様は、教育、医療、心理の経験豊かな専門家です。皆様と共に、楽しく、生きやすく、働きやすい社会を創っていきたいと思います。

